

### 「浄化剤とその製造方法」が特許登録

株式会社西日本環境工学と共同出願しました「浄化剤とその製造方法」が、平成19年4月6日に特許登録（特許第3939800号）されました。

これは、火山噴出物のシラスとグラファイトシリカ（カーボンを少量含む石英を主成分とした鉱物）及び数種類のミネラルをブレンドして粒状成形後、還元雰囲気焼成することにより、優れた浄化機能を有する多孔質セラミックスを製造する方法に関する特許です。

この浄化剤は、一般細菌に対する除菌効果、塩素除去機能を有しており、農業用水・畜産汚染水・地下水や飲料水などの浄化に有効です。



シラスを用いた浄化剤（商品名：太陽）

### 県有特許の活用促進について

当センターでは、研究開発の成果や企業との共同研究の成果などを積極的に特許として出願しています。現在、40件の特許権を所有し、24件の特許を出願中です。最近の出願状況と取得状況は次のとおりです。（単位：件）

区分 \ 年度	14	15	16	17	18
特許権取得	2	2	1	4	9
うち共有	2	1	1	1	4
特許出願	6	3	3	2	6
うち共同	1	1	2	1	2

また、県では平成19年3月に「鹿児島県知的財産戦略」を策定し、県有特許の活用を図ることとしており、特許等の活用推進に当たっては、「県が保有する特許の実施許諾や開放特許等についても積極的に情報提供等に努め活用を促進する。」こととしています。

当センターでも今年度は、以下の10件の特許について、広く活用及び普及を図りたいと考えておりますので、関心のある方は、企画情報部までお問い合わせください。

タイトル	紫イモを原料とする酒類の製造法
発明の名称 (2件)	紫イモを原料とする赤色酒類の製造法 （出願番号：特願平4-289662（平成4年10月2日） 公開番号：特開平6-113810（平成6年4月26日） 登録番号：特許第1988368号（平成7年11月8日）） 紫イモを用いたリキュールの製造方法 （出願番号：特願平4-200610（平成4年7月3日） 公開番号：特開平6-22738（平成6年2月1日） 登録番号：特許第1991440号（平成7年11月22日））
利用分野	サツマイモの一品種である種子島紫またはその改良品種である紫イモの美しい色と香りを有するリキュール及び赤色酒類の製造
目的・効果	紫イモの芳香と美しい色調を有し、紫イモに含まれている色素・デンプン・ミネラルなどを有効に利用したりキュールや赤色酒類を製造する。
技術の概要	蒸煮または焙焼した紫イモを破碎したものに、 アルコールまたは焼酎を加え、有機酸を用いてpH4.0以下で、紫イモの色素を移行させた浸出液と、このろ過残さを酵素で糖化した糖化液とを混和し、糖・有機酸及び水を加えてろ過してリキュールを製造する。 水・有機酸を加えてpH3.0～3.5で、糖化酵素で糖化させた糖化液に糖を添加して、酵母で発酵させた後ろ過して赤色酒類を製造する。

タイトル	長尺竹平板の製造方法
発明の名称 (4件)	<p>長尺竹平板製造方法及び装置</p> <p>（出願番号：特願平2 - 180172                      （平成2年7月6日）          公開番号：特開平4 - 67902                      （平成4年3月3日）          登録番号：特許第2098034号                      （平成8年10月2日）</p> <p>長尺竹の切削加工方法および切削加工装置</p> <p>（出願番号：特願平5 - 277441                      （平成5年10月7日）          公開番号：特開平7 - 108505                      （平成7年4月25日）          登録番号：特許第2124067号                      （平成8年12月20日）</p> <p>竹材の肉厚決め方法および肉厚決め装置</p> <p>（出願番号：特願平5 - 277442                      （平成5年10月7日）          公開番号：特開平7 - 108506                      （平成7年4月25日）          登録番号：特許第2124068号                      （平成8年12月20日）</p> <p>湾曲板の展開装置および展開方法</p> <p>（出願番号：特願平5 - 277443                      （平成5年10月7日）          公開番号：特開平7 - 108507                      （平成7年4月25日）          登録番号：特許第2124069号                      （平成8年12月20日）</p>
利用分野	半割りまたはそれ以上に分割した縦割り竹材を連続的に加熱しながら展開し、幅広い長尺竹平板を製造する方法と装置。
目的・効果	<p>縦割り竹材を長尺のままに割れを防止しつつ、幅広い長尺竹平板を連続的に製造する方法、及びその装置を提供する。</p> <p>長尺幅広い竹平板が製造可能となることから、従来の竹製品（工芸品等）に比べ、フローリング・壁材等工業的な製品としての用途展開が期待される。</p>
技術の概要	<p>竹の形状を整える前処理、加熱・圧延・展開及び冷却機構から構成され、特徴は次のとおり。</p> <p>前処理として、外皮・節及び隔壁等の凹凸を整形処理し、一定の曲率及び厚みになるような切削機構を備える。</p> <p>加熱法として高周波を利用。</p> <p>圧延・展開機構において、前処理した形状に対応した上下のローラーで圧延し、側圧を加え挟持しながら順次展開することで、展開時の割れを抑制。</p>

タイトル	微細空隙を有するファインセラミックス焼結体およびその製造方法
発明の名称 (1件)	<p>微細空隙を有するファインセラミックス焼結体およびその製造方法</p> <p>（出願番号：特願平5 - 192762                      （平成5年7月6日）          公開番号：特開平7 - 25684                      （平成7年1月27日）          登録番号：特許第2660383号                      （平成9年6月13日）</p>
利用分野	微粒中空ガラス球状体とファインセラミックス原料との混合物を成形し、焼結した微細空隙を有するファインセラミックス焼結体および製造方法。
目的・効果	<p>調理器具あるいは電子部品等のように、ファインセラミックスを小型化された形状で用いる場合に表面を滑らかにすることが求められている。</p> <p>平均粒径を制御した微粒中空ガラス球状体とファインセラミックス原料との混合物を成形・焼結することで、表面が滑らかとなる。</p> <p>焼結温度も、ファインセラミックス原料の焼結温度で製造を行うことができ、焼結体中の空隙の平均径の制御が可能となる。</p>
技術の概要	平均粒径が20 μm以下に制御されたシラスバルーンとファインセラミックス原料を混合・成形・焼結し、焼結体の空隙の平均径を20 μm以下に制御する。

タイトル	オーステナイト系ステンレス鋼表面の窒化処理方法
発明の名称 (2件)	<p>オーステナイト系ステンレス鋼表面の窒化処理方法（鏡面加工後窒化処理）</p> <p>出願番号：特願平7-256763（平成7年9月8日）          公開番号：特開平9-78223（平成9年3月25日）          登録番号：特許第2916751号（平成11年4月23日）</p> <p>オーステナイト系ステンレス鋼表面の窒化処理方法（粗面加工後窒化処理）</p> <p>出願番号：特願平7-256764（平成7年9月8日）          公開番号：特開平9-78224（平成9年3月25日）          登録番号：特許第2916752号（平成11年4月23日）</p>
利用分野	産業機械，装置等を使用されるオーステナイト系ステンレス鋼の耐磨耗性や耐久性を改善するための窒化処理方法。
目的・効果	窒化処理前の酸洗処理や有害なガス雰囲気炉での加熱処理など，特別な処理施設を必要としない安全なオーステナイト系ステンレス鋼表面の窒化処理方法が求められており，アンモニアガスを基本とする雰囲気の中で簡単にオーステナイト系ステンレス鋼表面の窒化処理ができ，十分な厚さと硬さを有する窒化層を形成できる。
技術の概要	<p>オーステナイト系ステンレス鋼の表面に，鏡面加工を施した後，表面を加熱することで酸化皮膜を形成し，その後アンモニアガスを基本とする雰囲気中で加熱する窒化処理方法。</p> <p>オーステナイト系ステンレス鋼の表面をショットピーニング加工による加工変質層の形成と表面の研磨，研削等により粗面化させ，アンモニアガスを基本とする雰囲気中で加熱する窒化処理方法。</p>

タイトル	回路実装プリント基板の誤動作箇所検出法及び検出装置
発明の名称 (1件)	<p>回路実装プリント基板の誤動作箇所検出法及び検出装置</p> <p>出願番号：特願平9-160361（平成9年5月14日）          公開番号：特開平10-319071（平成10年12月4日）          登録番号：特許第3209944号（平成13年7月13日）</p>
利用分野	電子機器の回路実装プリント基板等において，外来電磁ノイズの影響を受けやすい場所を，効率よく見つけ出すための検出法及び検出装置
目的・効果	電子機器が外来電磁波の影響で誤動作する問題を効率的に対策するため，被試験体の回路実装プリント基板において，電磁波の影響を受けやすい部品や配線などを効率よく，再現性よく，被試験体に関する知見が乏しくても検出できる検出法や装置を提供する。
技術の概要	<p>被試験体である回路実装プリント基板の，ある一部の領域に，ノイズ印加用プローブを近接させて局所的な電磁ノイズを加える。</p> <p>印加電圧を除々に強め，被試験体が誤動作した時の印加電圧と誤動作した内容を記録する。</p> <p>この作業を，ノイズの印加場所を変えて繰り返し行う。そして，測定結果を，被試験体の映像上に重ねて表示することで，ノイズに弱い部品や，パターンを容易に特定することができる。</p>